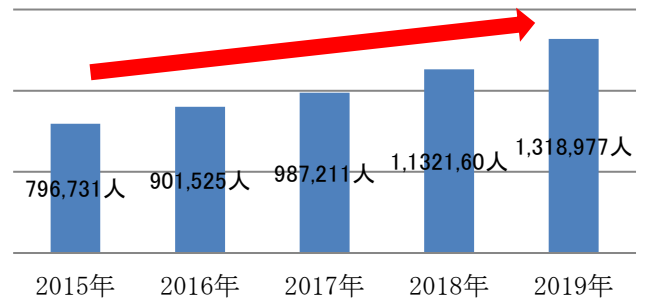


(件名) 新千歳＝バンコク線の運航状況及びタイ人旅行者の特徴について

新型コロナウイルス感染症流行以前、訪日タイ人旅行者は、増加傾向にありました。4月29日以降日本に入国する場合には、有効なワクチン証明書又は出国前検査証明書の提示は不要となり、来道するタイ人旅行者は更に増加すると考えられます。そこで、新千歳＝バンコク線の運航状況及びタイ人旅行者の特徴についてお伝えしたいと思います。

訪日外客数推移(タイ人) データ引用元：JNTO

**1 新千歳＝バンコク線の運航状況について**

タイ国際航空の直行便は、昨年12月から冬季スケジュールで再開したものの、今年5月以降運休していました。今般、8月3日より運航再開すると発表されています。なお、毎日の運航ではなく、週に5便の運航計画となっています(詳細はタイ国際航空ホームページをご参照ください)。

2 タイ人旅行者の特徴について

かつてごく一部の富裕層に限られていた外国旅行は、中間所得者層や若年層の間にも定着しており、経済発展やLCCの就航により、近隣諸国を旅行しやすくなったことがその背景にあります。

そこで、タイ人旅行者の主な特徴は、以下の2点が挙げられます。

- (1) 外国旅行先として日本の人気が高く、2回以上来訪している割合が高い。
- (2) 物見遊山型だけでなく体験型の観光にも関心を持ち、中でも富裕層は、新しい体験を求めている。

(1) Biz Asia Co.,Ltd. (ビズアジア) 調べでは、タイ人がコロナ収束後、最も訪問したい国は日本という結果が出ています。なお、2位は韓国ですが、投票率は倍以上の差があります。

また、日本の観光庁調べでは、観光目的で日本を訪れる旅行者の7割が、2回以上日本を来訪しており、日本についての知識や経験を蓄積したリピーターが増えているようです。

(2) 観光庁調べでは、次回の訪日旅行でやってみたいこととして「スキー・スノーボード(24.9%)」「自然体験ツアー・農漁村体験(22.4%)」「日本の日常生活体験(20.7%)」が挙がるなど体験型の観光にも関心を持っています。

また、富裕層は「新しい体験」と歴史や背景などの「ストーリー性」を求めています。タイでは出来ない体験のほか、食事の際には、食器や食材の詳細、店舗の歴史等の説明が好まれるようです。

3 所感

自身の旅行体験を「SNS」上でシェアするタイ人は全体の8割を超えており「SNS」の利用はタイ人にとって身近な存在となっています。

来道したタイ人旅行者に、いかに自社の商品を知ってもらうか、より多くの場所で触れてもらうことが重要と考えます。インバウンド向けプロモーション手段として「SNS」の活用や多言語対応などを検討いただくのはいかがでしょうか。